

機械工学コースの学修到達目標

- 豊かな教養を身につけるとともに科学技術が人類や自然に及ぼす影響を正当に評価できる能力を修得している。
- 機械工学の学問領域に関する基礎的ならびに専門的知識と応用力を身につけている。
- 工学的発想に基づくデザイン能力とマネジメント能力を身につけている。
- 論理的記述力とコミュニケーション能力を修得している。
- 科学技術を自ら学修することができる能力を修得している。

機械工学コースのカリキュラム・ポリシー

- 入門科目で機械工学に関する力学およびコンピュータを用いた解析技術の基礎を講義や演習によって学びます。
- 専門基礎科目で、基礎的な数学や4力学, 加工技術など機械工学についての基礎を講義や実験, 演習によって学びます。
- 専門科目で、4力学の応用やデザイン能力を講義や実験, 演習によって学びます。
- 発展科目は、専門的知識を応用する能力を伸ばし、工学的知識に基づいてエネルギー問題などを学びます。
- 卒業研究を行なうことで、世界的に最先端の研究を体験・修得し、課題解決能力・課題探求能力・コミュニケーション能力・プレゼンテーション能力を伸ばします。
- 授業の成績評価は、定期試験の結果、レポート、課題、ディスカッション、プレゼンテーションの成果、授業やゼミナールへ取り組む意欲・態度などの観点から行います。卒業研究の評価は、卒業論文の内容および口頭試問などで行います。評価の結果、学修成果が一定の水準に達したと担当教員が認めた場合に単位が認定されます。

科目に関する別表（機械工学コース）

科目等 資質等	入門科目	専門基礎科目	専門科目	発展科目	卒業研究 関連科目
教養および 科学技術の 評価能力の 修得	基礎実験	生命科学 基礎化学	工学倫理 安全工学	社会と工学 経営管理 産業経済学	
機械工学の 専門知識 (数学)	微分積分学 I, II 線形代数 I	微分積分学 III 確率, 統計 応用数学 A, B, C			
機械工学の 専門知識 (物理学)	基礎物理 A	機構システム学 I, II 基礎物理 C メカトロニクス	応用物理学	基礎物理 D	
機械工学の 専門知識 (情報科学)	情報科学概論	プログラミング概論 数値計算法 I	数値計算法 II		
機械工学の 専門知識 (力学)		機械力学 I, II 材料力学 I, II 流体力学 I, II 熱力学 I, II	機械力学 III 材料力学 III 流体力学 III 熱力学 III	機械力学 IV 材料力学 IV 流体力学 IV 熱力学 IV	
機械工学の 専門知識 (実験・実習)		生産加工実習 機械計測法 I, II, III CAE 実習	機械工学実験		
機械工学の 専門知識 (設計・制御)		設計工学 I, II 生産加工学 I, II 制御工学 I, II 機械材料 I, II	弾性力学 材料強度学	制御工学 III ロボット工学	卒業研究
機械工学の 専門知識 (エネルギー)			エネルギーと環境 工学	エンジン工学 伝熱学 流体機械	
デザイン能 力の修得		機械のデザイン A	機械のデザイン B	実践 IoT 実習	
論理的記述 とコミュニ ケーション 能力の修得	技術英語 I	技術英語 II	技術英語 III	技術英語 IV 国際インターンシ ップ グローバルセミナ ー A, B グローバルコミュ ニケーション演習 A, B	
自学的学修 能力の修得			エンジニアリング アプローチ エンジニアリング プラクティス 創成プロジェクト	創成プロジェクト	

主として養われる資質